



# やるきほんききさき 木佐木

神奈川県議会議員  
日本共産党

2026.5.13  
木佐木ただまさ news  
発行：党横浜北東地区委員会  
横浜市鶴見区潮田 3-147-6  
TEL：045-511-1021

Profile  
▶1984年(41歳)山口県出身  
▶鶴見区馬場在住  
▶神奈川大学法学部卒  
▶よこはま健康友の会会長  
▶横浜東民商顧問

## 知事の「逃げ」は許されない！ デマや差別に反撃する、真の「県民の盾」へ

**デマ・差別に打ち勝つ：県の「攻め」の広報戦略**  
デジタル技術と全庁連携で、誤情報に惑わされない安心な社会へ。

<b>AIとキーワードで「差別・デマ」を監視</b>	「どもスマートネットプロジェクト」により、ヘイトスピーチや関連するフェイクニュースを抽出・削除要請します。
<b>迅速な「ファクトチェック」と事実発信</b>	災害時などのデマをAIで排除し、知事のビデオメッセージやSNSで「正しい情報」を即座に届けます。
<b>「広報統括官」による全庁横断体制</b>	部署の垣根を越え、県全体で一貫したメッセージを戦略的に発信する仕組みを構築します。

ここに大きな問題があります。知事の答弁からは「ヘイト」や「差別」という言葉が一切出ず、人権問題から巧妙に論点をずらしていました。立派な体制があっても、トップに「県民を差別から守り抜く覚悟」がなければ、いざという時に県民を守る盾にはなりません。

### やればできる！企業庁はAIでデマを見抜きインフラを守る

一方で、前向きな実践も始まっています。私たちの水道や電気を担う「企業庁」は、AIを導入しました。SNS上の膨大な情報から「水道管が破裂した」などのデマを瞬時に見抜いて排除し、本当に困っている現場の声を正確に拾い上げる仕組みを進めています。やればできるのです。この技術と広報を全庁で連携させれば、命をまもる情報発信が可能になります。



### ネットの嘘や差別を放置するな！ 県に「反撃の広報」を要求

スマートフォンが普及した今日、SNS上で広がる嘘の情報(フェイクニュース)や、特定の人々を傷つける差別的な書き込み(ヘイトスピーチ)が深刻な社会問題となっています。特に災害時には、悪意あるデマがパニックを引き起こし、県民の命や暮らしを直接脅かす暴力へと変わります。

私は、県議会予算委員会でこの問題に切り込みました。「県はネット上の書き込みをただ監視したり、削除を待ったりするだけでは不十分。県自らが『その情報は間違いだ』と真実を発信して嘘を打ち消す、積極的な『反撃の広報(カウンターナラティブ)』こそが必要だ」と知事に強く迫りました。

### 知事は「差別問題」をスルー 仏作って魂入れずの広報体制

これに対し黒岩知事は、「すでに広報をまとめる司令塔を置き、全庁横断の体制はある」「知事自ら動画で正確な情報を出す」と、体制の存在をアピールしました。しかし、こ



### 【木佐木の視点】

デマや差別がはびこる社会で最も傷つくのは、立場の弱い人々です。「すでに体制はある」と胸を張る知事の事なかれ主義を、私は見過ごせません。システムがあるなら、それを災害デマへの対応だけでなく、人権を蹂躪するヘイトスピーチを打ち返す武器として機能させるべきです。どんな差別も許さず、誰もが安心して暮らせる神奈川にしていけるためこれからも、県民の皆さんの声を力に、知事の姿勢を厳しく正し、生活を足元から温める県政を実現していくため頑張ります！

YOUTUBEでも紹介しています⇒

